

# ライフデザインラボが実験する対話・発信プロジェクト 「知ることでまちをどんどん好きになる」

## 事業ビジョン

ライフデザインラボはコミュニティスペースです。  
失われがちな地縁・コミュニティをどう作っていくのか、  
つながりがあると感じる、安心できるまちはどんなまちなのか、  
「つながりづくり」の実験室として活動しています。

ライフデザインラボでは  
まちのことを自分ごととして考え行動する人を増やすことが  
生き生きとした持続可能なまちづくりにつながると考えています。

そこで「まちを知る」機会を作ること

「まちの伝え手」を増やすこと

を目的にプロジェクトを行うことにしました。

「知ることでまちをどんどん好きになる」略して

▶▶▶ 「まちすき」プロジェクト！

## まちすきプロジェクト2つの軸

### 話そう

対話の場づくり・まちを知る機会



### 伝えよう

伝える場づくり・まちの伝え手を増やす

状況が違う者同士が共に集う場として、  
日本に住む外国ゆかりの人たち、  
障がいのある人たち、  
世代の違う人たちが対話できる場を設定することにしました。

発信する役割を担うのはまちの子育て世代。  
子育て中の女性たちは地域の未来に敏感です。  
また、自分の立ち位置や価値観が揺らぐこともあります。  
そんな子育て経験者たちに、情報の発信者として社会とつな  
がる活動を行ってもらいました。

## 3回にわたる対話のワークショップを開催

Case1 2019年7月1日 国際理解交流会

Case2 2019年9月10日 障がい理解交流会

Case3 2019年12月1日 世代間理解交流会

多様な団体と協働して対話の場を作り、  
そこで得られたことを子育て世代のリポーターが冊子にまとめ発信します。